

地域防災リーダー養成講座

自主防災活動について

島田市危機管理課

R6. 7. 3

目次

1. 自主防災組織とは
2. 島田市の自主防災組織について
3. 平常時の活動
4. 災害時の活動
5. 自主防災組織の課題

1. 自主防災組織とは

• 自主防災組織は任意団体

「自主防災組織」は災害対策基本法に基づき設置されている組織です。

住民の任意により

「自分たちの地域を自分たちで守る」

ために設立されています。

住民の任意により結成されているため、「消防団」などとは位置付けが異なる

1. 自主防災組織とは

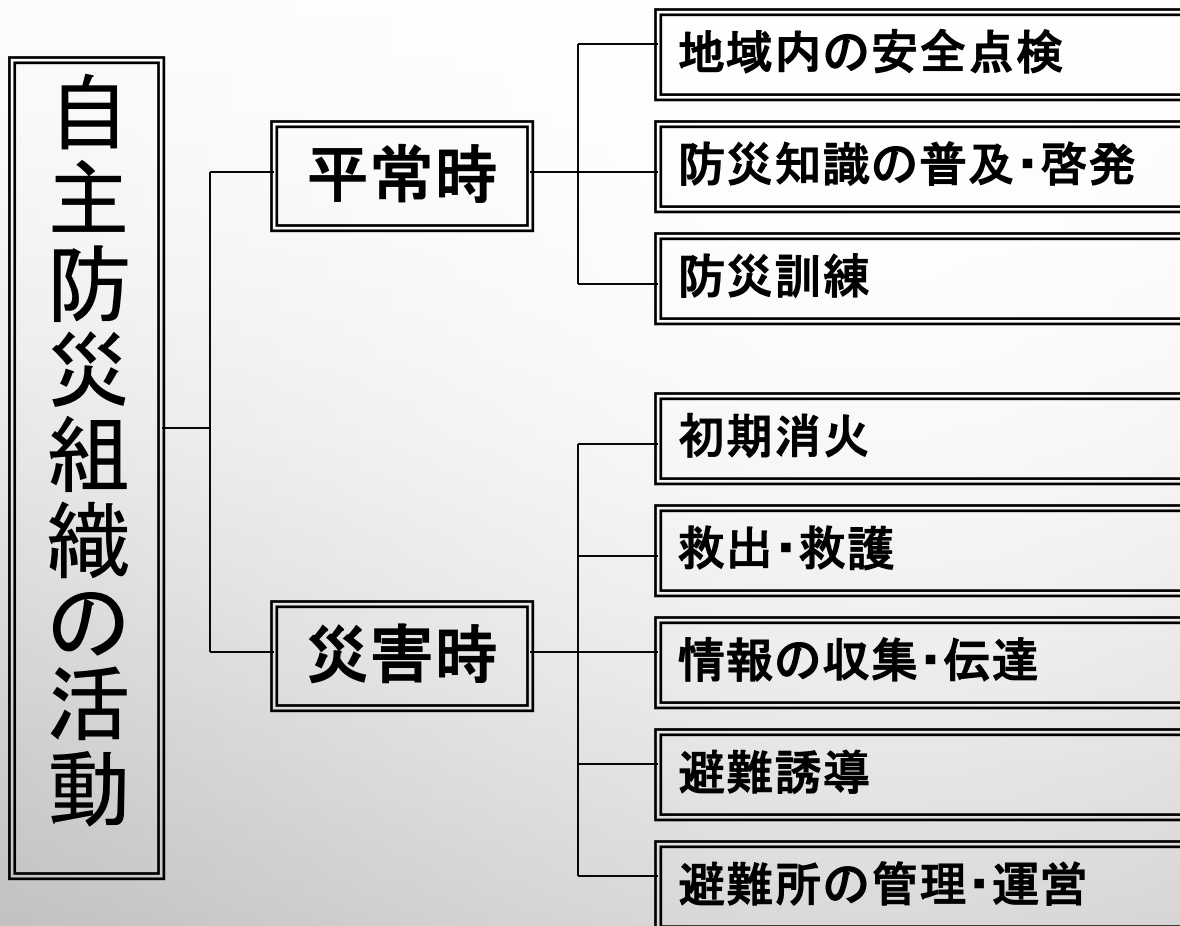
• 自主防災組織は「共助」の要！！

「東日本大震災」や「能登半島地震」では、道路・電気・ガスなどの都市基盤が崩壊し、また行政職員自身の被災から、発災直後は防災関係機関の活動が充分ではなかった。

その一方で、近隣住民の多くの人々が協力し合い、救助活動に参加し、初期消火による延焼拡大を防止した。



1. 自主防災組織とは



地域の危険性や家庭内での安全点検及び地域の特性にあった各種の防災訓練を通して、災害に備えるための活動です。

災害が発生したときに、人命を守り、被害の拡大を防ぐために必要な活動です。

2. 島田市の自主防災組織について

島田市の自主防災組織は**132組織**

島田地区：79組 金谷地区：37組 川根地区：16組

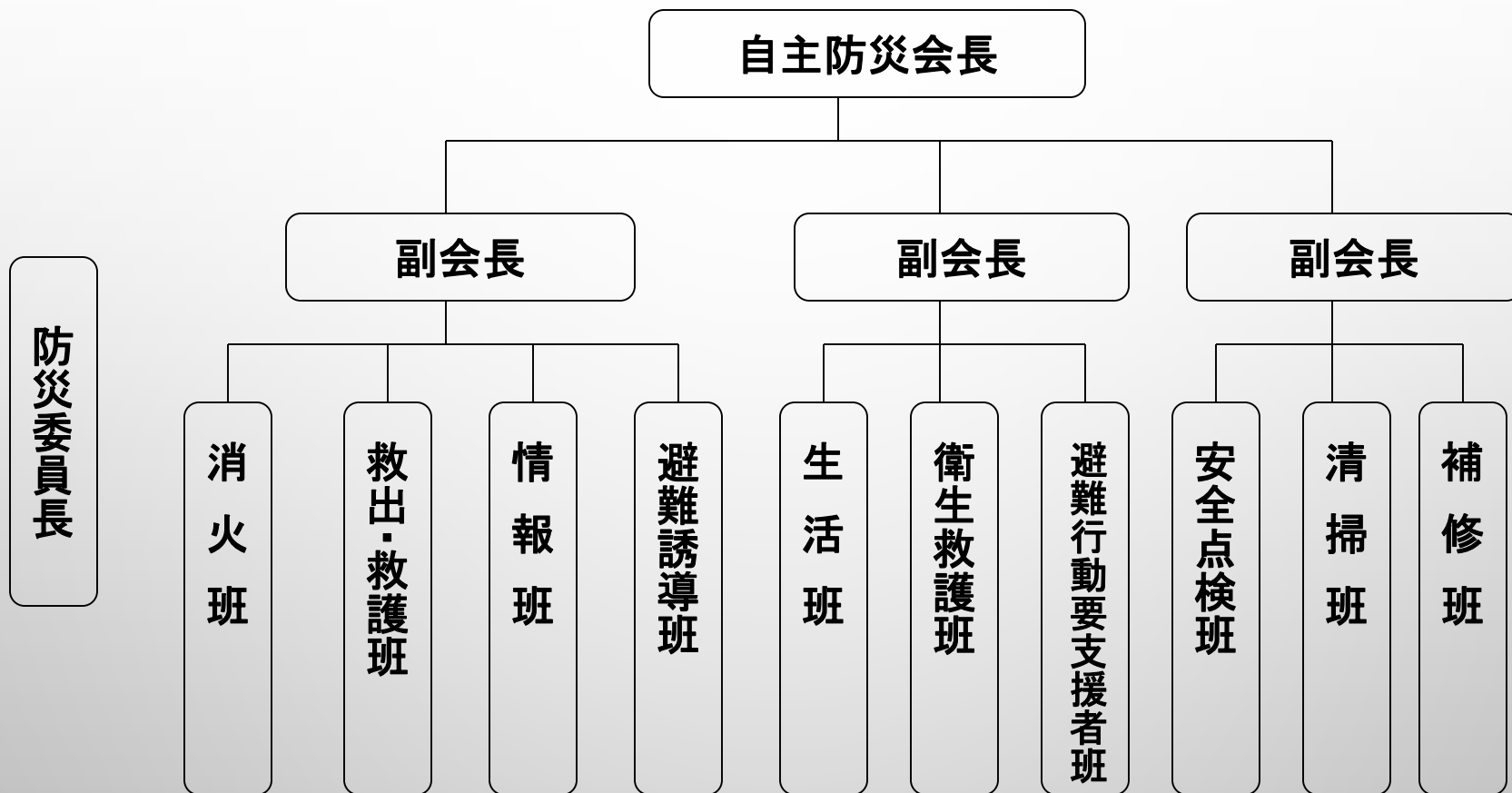
おおむね町内会単位で結成

会長・副会長・防災委員長を中心とした組織体制

訓練などを通じて地域の実態に合った組織形成

2. 島田市の自主防災組織について

■ 組織図・役割分担の例



• 消火班

平常時 消火器・可搬ポンプの使い方(確認・指導)

消火訓練

災害時 初期消火(消火器・可搬ポンプ)

火災の警戒

• 救出・救護班

平常時 救出用資機材の整備、調達

救出・救護訓練の実施

災害時 救出・救護活動

防災機関への協力

• 情報班

平常時 災害に関する知識の普及
情報伝達訓練の実施

災害時 情報の収集伝達
防災関係機関への被害報告

• 避難誘導班

平常時 避難経路等の選定・安全点検
避難訓練の実施

災害時 避難の呼びかけ、誘導
避難者の点呼

• 生活班

平常時 非常持出品の準備の啓発

炊出し用具の確保、炊出し訓練の実施

災害時 炊出し、物資分配支援

避難所生活の調整

• 衛生救護班

平常時 応急手当や衛生知識の普及

仮設トイレの設置・対策検討

災害時 応急救護の実施

し尿対策等の報告

• 避難行動要支援者班

平常時 避難行動要支援者の把握
対応の検討

災害時 避難行動要支援者の避難呼びかけ、避難誘導
避難行動要支援者の点呼

• 安全点検班

平常時 地域の巡回点検
危険物の調査

災害時 被災箇所の巡回
危険個所の報告・広報

• 清掃班

平常時 ごみ処理対策(避難生活で出るごみ)

がれき等廃棄物処理の検討(災害廃棄物)

災害時 ごみ処理

仮置場設置までの災害廃棄物管理

• 補修班

平常時 家屋等の補修に必要な資機材と人員の確保

災害時 屋根等の応急修理

3. 平常時の防災活動

- 地域住民への防災知識の普及・啓発

毎年の防災訓練の実施防災に関する知識を地域住民へ知ってもらうことも大切です。防災訓練では毎年参加する人が決まってしまうという声もあります。地域住民の積極的な訓練の参加を呼びかけましょう。

講演会や研修会を開催することで防災知識を深めてもらうのも一つの手です。

3. 平常時の防災活動

地域でできる防災研修会

・DIG(災害図上訓練)

DIGは、街歩きを行い、地域をより深く理解し、参加者の間で地域内の危険箇所の認識を一つにできます。

・HUG(避難所運営ゲーム)

擬似的な避難所運営を体験できるゲームです。

・自主防災組織災害対応訓練「イメージTEN」

参加者は自主防役員を演じ、対象地域、災害の条件、資機材と役員の数等を設定し、予め決めた10個の課題に対してどう対処するのかを話し合います。一つの課題あたり7~10分で検討し、終了後は反省点や感想などを発表してもらいます。

3. 平常時の防災活動

地域住民への防災活動の啓発

・自宅の耐震化

昭和56年5月以前に建築された木造住宅は、市町の建築担当課に申し込めば無料の耐震診断を受けることができます。

・家具の転倒防止

家の耐震構造が十分でも、家具が倒れて怪我をする危険があります。ホームセンターなどで売っている家具転倒防止用の器具を取り付けて、家庭内の転倒や落下の可能性のあるものは対策をとるようにしましょう。

また、寝る場所には、家具を置かない、配置を工夫するなど安全に対する備えが必要です。

3. 平常時の防災活動

地域住民への防災活動の啓発

・非常持出品の準備

避難時にすぐに取り出せる場所に保管し、家族の人数に合わせて用意します。日頃服用している薬やかかりつけ病院を記載したのもも非常持出品の中に入れておきましょう。

・食料・飲料水の備蓄

災害に備えて、ビスケットなど調理不要で食べられるものを中心に7日分の食料を用意します。飲料水は1人1日2リットルを7日分以上用意しましょう。併せて簡易トイレや便座にセットして使用する便袋なども必ず必要になります。



3. 平常時の防災活動

地域が保有する防災資機材の管理

- ・可搬式消防ポンプ

初期消火活動の一助とするために、学校のプールなどから水が取れるようにポンプを用意しています。

- ・緊急時用浄水装置（ろ水機）

災害時の生活用水を確保するために、水を浄水します

- ・発電機

避難者が安心して生活できるように非常用電源として利用します。

3. 平常時の防災活動

地域の防災課題の発見・計画の作成

- ・地域における災害リスクの洗い出し

行政が発行するハザードマップや街歩きによって、地域が抱える災害リスクを発見します。

- ・地域住民の状況確認

「要支援者名簿」などをもとに地域住民の状態を把握します

- ・要配慮者などの支援計画を作る

要配慮者など、災害時において支援を必要とする住民の支援方法を計画として作る。

要配慮者とは？

- 要配慮者とは、

- ①寝たきりの方

- ②障害のある方

- ③妊婦

- ④日本語のわからない外国人

など自力での避難や避難所での生活が困難な方

要配慮者と要支援者について

- 要配慮者と避難行動要支援者の範囲

要配慮者の範囲

- ・高齢者、障害者、外国人、妊産婦、乳幼児、人工呼吸器使用者や人工透析患者を含む難病患者等

自力での避難や避難所での生活が困難

避難行動要支援者の範囲

- ・重度要介護者(要介護3～5の認定者のうち居宅介護者)、身体障害者手帳1級又は2級の交付を受けている在宅の者、療育手帳Aの交付を受けている在宅の者等

速やかな避難のために**特に支援が必要**

個別計画

一人暮らし等、家族からの避難支援が受けられない人

要支援者の支援について

• 避難行動要支援者名簿の活用

福祉課で作成している避難行動要支援者名簿には、名簿に名前を載せることを承諾した要支援者の方が記載されています。各自主防災会長へ貸与していて、有事の際には安否確認等での活用ができます。

• 個別計画の活用

自力避難が困難で家族からの支援が受けられない、要介護3以上である、等といった条件に当てはまる方に自主防災組織が主導で作成していただくもので、家の間取りや支援者の氏名、常用している薬の有無等、要支援者名簿より細やかな情報があります

4. 災害時の活動

・市では・・・

震度4の地震が発生した場合、災害対策室等にあらかじめ指定された職員が参集し、情報収集や連絡活動等の必要な業務に就きます。

震度5強以上の場合は、市役所大会議室に災害対策本部が設置されるとともに、全職員が所定の場所に参集します。

市指定避難所には現地避難地班員（市職員）が参集し、情報収集と情報伝達を行います。

・自主防災では・・・

自主防災組織では、地区対策本部を設置し、各班に情報収集を依頼し、報告させます。結果を市指定避難所の現地避難地班員に報告し、現地避難地班員から市の本部へ情報が伝達されます。

また、状況によっては初期消火活動や被災者・要支援者の救出・救護に当たります。

4. 災害時の活動

• 地震情報の取得について

島田市内で、震度4以上の地震動が観測された場合は、その震度情報を同報無線及び市防災メール等でお知らせします。

地震災害が起こった後は、地域の情報収集と情報伝達を現地避難地班員（市職員）を通して行います。また、テレビやラジオを通して正確な情報を取得し、デマや、不確定な情報に注意しましょう。

災害用伝言ダイヤル171の活用など、家族の安否確認の方法を事前に話し合っておきましょう。

4. 災害時の活動

• 要支援者支援活動

災害が予期されるまたは災害が発生した際は、地域の要支援者の避難行動を支援します。

避難所において、要支援者の避難が確認できない場合は、要支援者へ連絡をとり、被災状況を確認します。

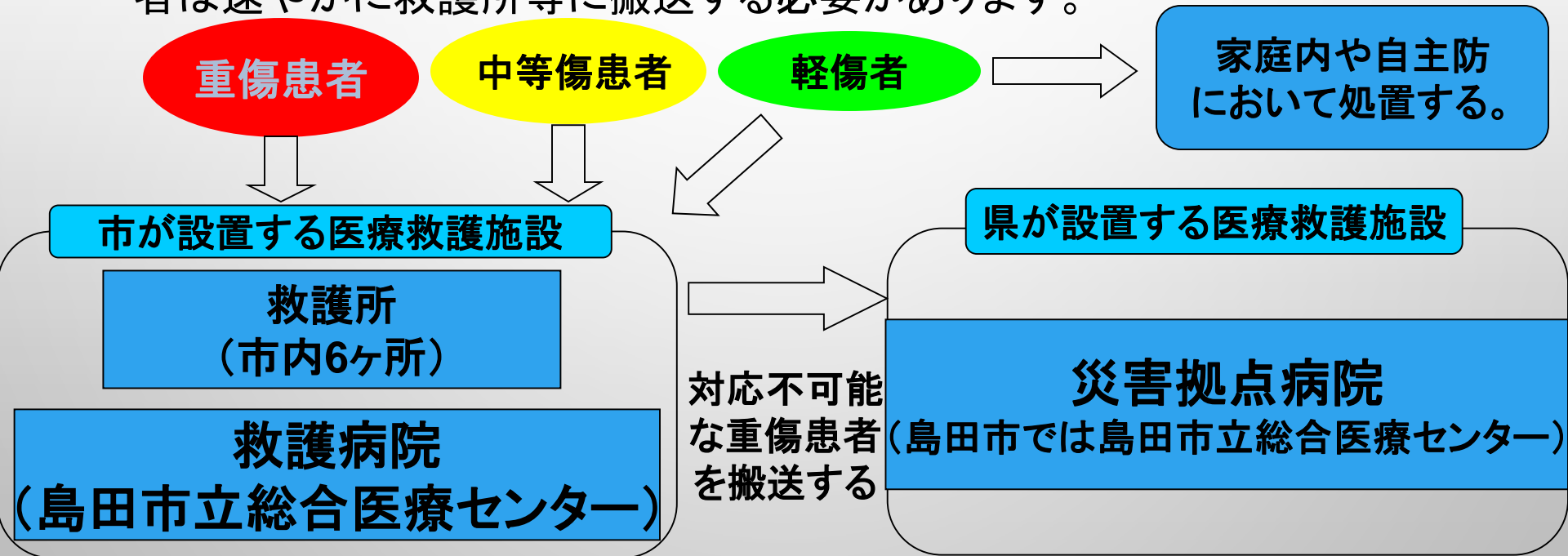
要支援者の確認には、個人情報の提供に関する同意を得られていない人も掲載されている要支援者名簿を活用します。



4. 災害時の活動

・ 医療救護活動

大規模災害によって大量の負傷者が出た場合、重傷患者や中等傷患者は速やかに救護所等に搬送する必要があります。



4. 災害時の活動

- 島田市内の救護所一覧(市内6ヶ所)
 - 第一中学校
 - 保健福祉センター(第四小学校)
 - 六合公民館(六合小学校)
 - 初倉公民館
 - 金谷小学校
 - 川根小学校

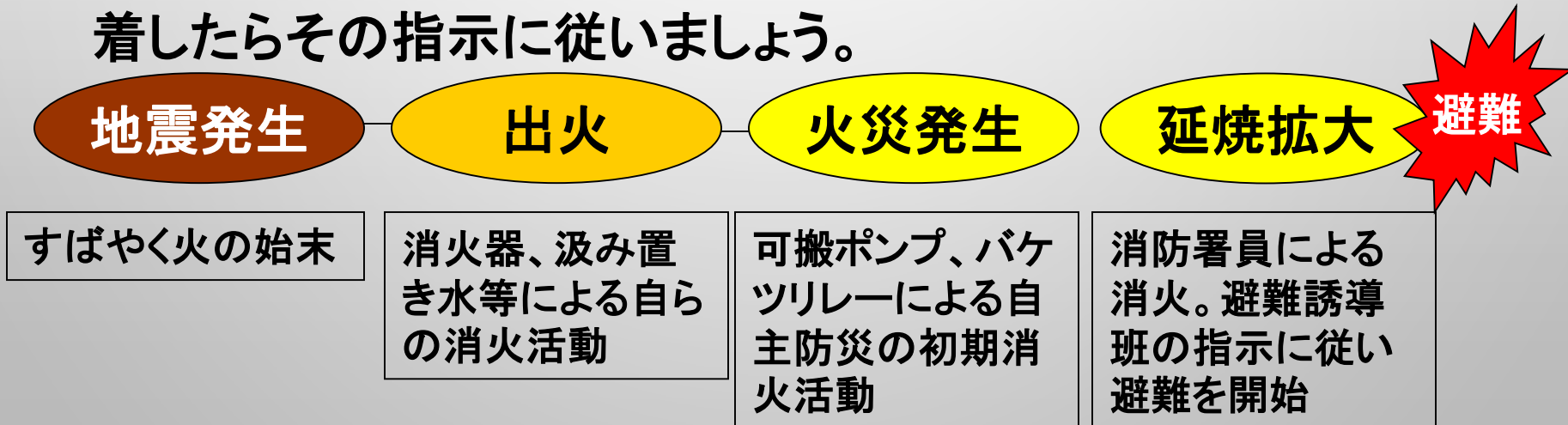
令和6年4月1日現在

4. 災害時の活動

・ 消火活動

地震による火災発生を防ぐためには、各家庭における対策が一番大切ですが、いざ火災が発生した場合には地域の自主防災組織が協力しての初期消火活動にあたりましょう。

地域で行う消火活動はあくまで火災の延焼を防ぐことが目的ですので、決して無理はせず、消防団員や消防署員が到着したらその指示に従いましょう。



5. 自主防災組織の課題

- **地域住民同士の関係希薄**
- **自主防災組織の担い手不足（高齢化）**
- **防災資機材の老朽化**

最後に・・・

自主防災組織は、**地域防災の要**です。

地域防災リーダーの皆さんは自主防災組織をサポートする立場として地域防災に貢献していただけるようお願いします。

まずは、自分が助かる「自助」の努力を地域住民に根付かせ、7日分の水、食料の備蓄や、家具の転倒防止、住宅の耐震化等を率先してやっていただければと思います。

The background of the slide is a light gray gradient with several realistic water droplets of various sizes scattered across it. The droplets have highlights and shadows, giving them a three-dimensional appearance.

地域防災リーダー養成講座

ご清聴ありがとうございました